

つながって

会報(第19号)【地域つながりセンター発行】
2024年7月
地域つながりセンター
〒690-0017 松江市西津田 3-5-16
☎ 0852-67-3088 FAX 0852-67-6890
【URL】https://www.ctc-shimane.jp

基本方針/誰もが“自分らしく生きること”を大切にして、地域の中で医療・介護、そして暮らしをつなぎ「より多くの人々が安心して住み続けられる地域づくり」をめざします。(諸団体連携による地域づくり活動や事業の推進)

正会員/島根県農業協同組合、松江保健生活協同組合、生活協同組合しまね
6つのおたがいさま(まつえ・やすぎ/いずも/雲南/大田/浜田/益田)
ひかわ医療生活協同組合、出雲医療生活協同組合(現在11団体)

オブザーバー/島根県社会福祉協議会、松江市社会福祉協議会

出雲でフードバンク・フードドライブ交流会 2024年3月

- *フードバンクで食品がだんだん集まらなくなってきたね。物価も高くなってるからかな～。
- *いつまでこの活動、やれる?できる?かな。
- *そもそも、何のためにやってる?



上記は、出雲地域の諸団体交流の場に出てきたフードバンク活動をしている団体のつぶやきです。

そこで「出雲市内でこの活動に取り組んでいる団体ってある?」「似ている活動のところに声をかけ情報交換してみよう!」と企画することにしました。

そして、出雲市社協フードドライブ担当 生活支援課 大迫さんに相談し初めての交流会を開催することにしました。当日は、取組みをしている当事者中心に関心のある方も含め約20名が集まりました。

はじめに出雲市社協の活動をお聞きし、その後それぞれの団体が具体的な取組みを報告し、最後に情報交換をしました。

初めての交流機会でしたが、「時間が短かった、もう少し話したかった!」の声を聴きながらの終了!

そのあと、自然に始まった名刺交換も気づけば30分以上の時が流れ「またこんな機会がほしい」「立場を超えて連携したい」「取組みを社会全体で共有することが大切」と、今後につながる感想も多々寄せられました。

さらに「食品や情報等、協力体制の構築も必要」等の声も上がり、引き続き地域でつながっていかれたらと思います。

内容:「フードバンク・フードドライブについて」

お話 …出雲市社協 生活支援課 大迫 慎二郎さん(社会福祉士)

団体報告:各団体7分程度

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| ① フードドライブと「つながるマルシェ」 | …ひかわ医療生協 大林さん |
| ② だんだんわけこ会 | …出雲医療生協 吉井さん |
| ③ 大曲診療所フードドライブ | …大曲診療所 坪内さん |
| ④ コミュニティブリッジ出雲 | …NPO法人しまね子ども支援PJ 樋口さん |
| ⑤ しんぐるまざあず・ふぉーらむ・出雲 | …久野さん |
| ⑥ しまねみらい事業部の活動 | …ワーカーズ 細木さん |

交流会 *取組みから見えてきた実態やニーズ、利用者の声、課題などを交流しましょう



後日、出雲市社協にて、大迫さん、次年度担当の田村さん、そして生活支援コーディネーター大錦さんと事務局3名とで、情報交換を行いました。「今後も年1回程度、緩やかに交流会や学習会など、いっしょに開催していきましょう!」

地域つながりセンター 〈2024年度〉総会の開催

総会

地域つながりセンターは、今年度、設立10周年を迎えました。

6月27日(木)には、正会員代表、各幹事の参加により、第11回総会が開催されました。

(正会員は、団体数11・個人2の計13会員)

当日は、全会員出席(委任出席含む)のもと、3議案(①23年度事業報告と決算 ②24年度事業計画と予算③役員改選)すべて承認されました。



また、9月には「10周年」の記念事業を行います。別紙をご覧ください、どなたもご参加ください。

「そもそも、つながりセンターって、何をしているところ?」と思っておられる方、大歓迎です。ぜひ、この機会に、お誘い合わせのうえお越し下さい。

【下記は、新しい役員の方です。よろしくお祈りします】

センターを拠点とする5事業を紹介

- ① 有償たすけあい「おたがいさま」チーム
(県内6団体の交流や研修を企画・運営)
 - ② 「なないろ食堂・寺子屋」
(大庭地区の小中学校、公民館等で開催)
 - ③ 「NPOフードバンクしまねあったか元気便」
(松江市内小中24校の就学援助世帯対象)
 - ④ 「出雲地域交流会」
(出雲地域の諸団体・社協・行政等との連携)
 - ⑤ 「子どもの笑顔応援基金」
(生活にお困りの方が有償助けあいの利用でひと休みしたり、手伝ってもらえるよう支援)
- *各事業はそれぞれの運営委員会ごとに活動を進めています。また、当センターは常任幹事会を中心に運営しています。

役職	氏名	備考
1 代表	石原 淳子	生協しまね・副理事長
2 副代表	越野 浩昭	JAしまね・常務理事(くにびき地区本部・本部長)
3 副代表	高橋 健	あったか地域づくり協議会・代表(個人会員)
4 常任幹事	長谷川 隆	松江保健生協・常務理事
5 常任幹事	小林 健吾	生協しまね・専務理事
6 常任幹事	小澤 清治	出雲医療生協・常務理事
7 事務局長	野津 久美子	地域つながりセンター・事務局長(個人会員)
8 幹事	飯塚 郁子	JAしまね 本店・総務部ふれあい福祉課課長
9 幹事	上野 幸子	JAしまね くにびき地区本部・企画総務部次長
10 幹事	穴道 みちよ	生協しまね・理事
11 幹事	庄司 明子	松江保健生協・地域担当課長
12 幹事	大林 由美	ひかわ医療生協・常務理事
13 幹事	瀧山 亜紀子	おたがいさま まつえ・やすぎ・代表
14 幹事	榎野 智子	おたがいさま いずも・代表
15 幹事	田中 学	おたがいさま 雲南・代表
16 幹事	田中 鈴夫	なないろ食堂 運営委員会・代表
17 幹事	大木 理之	NPO法人フードバンクしまねあったか元気便・事務局長
18 幹事	清原 春美	おたがいさま支援チーム・代表
19 幹事	岩崎 正志	鳥根県社会福祉協議会・地域福祉部長
20 幹事	池田 圭介	松江市社会福祉協議会・地域福祉課長
21 監事	戸田 和志	松江保健生協・常務理事(兼総務部長)
22 監事	新井 徹	生協しまね・組織運営部つながり応援チームリーダー

総会学習

「どうする? (助け合いの) 担い手確保 作戦会議」

出雲市内で生活支援に関わる多様な団体に上記交流会を呼びかけました。さらに、行政、市社協、出雲保健所(県地域包括ケア推進スタッフ)の参加も得ました。

数年前からどの団体でも担い手不足は、喫緊の課題となっており「担い手の確保、本当にどうする?」と、頭を寄せあいました。各団体から現状や情報を出し合いながら「どうする?」会議は、当初1回の予定でしたが3回にも及び、「担い手確保」については各団体ごとの取組みだけでは、すでに限界であることを再確認しました。この会議で皆さんが出し合ったアイデアをぜひ出雲市全体の取組みにして頂きたいと、当センター(出雲地域交流会チーム)にてまとめ、お願いをすることになりました。



総会学習として、瀧山幹事からその報告を行い、さらに出雲市社協 生活支援コーディネーターの大錦さんにもお話し頂きました。「社協は地域の活動をなぜ支援するのか...社協本来の役割、めざす目的など、そして 住民、社協、行政も、それぞれ相互理解を進め協働していくことが大切」ということでした。そして、この出雲地域の活動についても「主体的な参加」「柔軟な姿勢」そして「スピード感」がありますね!と嬉しいエールをいただきました。(野津)

「出雲市での諸団体連携のとりくみ」(出雲地域交流)

有償たすけあいシステム
しまねのおたがいさま

出会いを楽しみに!そしてパワーに!

今春、新人研修で来所した若い人たちに、「お互い様」ってどんなイメージ?と聞いたところ、『悪いことをした時に お互い様だよ と言う感じかな…』と意外な答え。日常会話では交わされることがなくなりつつあるのかもしれないと感じています。助け合いを介し 双方が喜べる“おたがいさま”を掲げて20年以上が経過。私たちの活動は、地域で今、最も必要とされている「人と人のつながりづくり」を活動の柱にしています。活動に参加されている方にお話を伺いました。



国際音楽アカデミーの36人(生徒さんの半数が外国の方、講師は全員外国の方)の食事づくり応援をしました。献立は和食も交えたバイキング形式に。外国の方とお話もでき「アリガトー」とジェスチャーで通じるのがうれしかった。音楽をする人はプライドが高いのかと思ったが、出汁を取った昆布を佃煮にして提供したらみなさん『おいしい!』と。そんなやり取りができて親しみが湧きました。こんな体験 来年もしたいです!



私、得意分野が何もない。できることはさせてもらおうと 草取りやお掃除の応援をしています。喜んでもらえる、人の役に立っているんだなーと凄くうれしいし心地良いんです。生活の張りにもなるし自分のためになっています。

退職もあり自分の“これから”がとても不安になり 悩んで暗い気持ちになっていた時に「おたがいさま」をしている近所の方から、“おたがいさま”に誘ってもらいました。私の人生が開けた瞬間です。今ではコーディネーターとして楽しく活動しています。



2024年3月「第8回おたがいさま全体交流会」を開催し、おたがいさまの今とこれからを語り合いました。講師をしていた宮森健次さんは、ご自分の応援経験で感じた気持ちの揺れやコーディネート時に特に配慮が必要と思われることなど、応援者ならではの率直な想いを発信してくださいました。

また、「おたがいさま」が、必要度あるいは切迫度ばかりに目が向いているのは窮屈だし、もったいない。遊び心のある文化的な利用そして応援も育ってきたらどんなにかいいだろう という期待も聞かせていただきました。みなさんの心に響いたお話でその後の交流に弾みがつきました。



有償たすけあい「おたがいさま」では、「フードバンクしまねあったか元気便」や「子どもの笑顔応援基金」との連携も進んでいます。子育て中のお父さんお母さんのレスパイト応援、お子さんの見守りや家事の手伝いを応援者ががしてくださっています。「おたがいさま」を介し 個々の出番の創出と、緩やかな人と人とのつながりが 広がることをめざしています。みなさんもスキマ時間に新たな出会いを楽しみませんか。(清原)

2016年に始まった「なないろ食堂」。現在も、ボランティアの皆さんと共に月に1回、継続して開催しています。学習支援「なないろ食堂・寺子屋」も月1回の開催。

会場は、湖東中学校・大庭公民館など、学校や地域の皆様にご協力いただき、助けられています。地域の中でさまざまな子ども支援の取組みとつながっていきたいと思っています。
(運営委員会 委員長 田中 鈴夫)

2024年5月「なないろ食堂」



今回は島根大学生物資源科学部の塩月先生による昆虫のお話がありました。

みんなの知る「はらぺこあおむし」の絵本をきっかけに身近な昆虫のお話を聞きました。

トンボの飛ぶ速さは何と時速230キロ！春の蝶より夏の蝶のほうが大きい等、子どもにも大人にも楽しいお話をして下さいました。



👉 5月19日(日)

山陰中央新報社「こども食堂応援プロジェクト」の一環として開催された「こども食堂マルシェ」に参加しました。

県内5カ所の子ども食堂の他、キッチンカーや縁日ブースがあり、たくさんの親子連れや地域の方が訪れました。なないろ食堂は「もち米すくい取り」をしました。大盛況で予定より早く終了しました。



写真掲載のご了承を得ています

山陰中央新報社は、社として「子ども食堂」を運営されています。全国的に子ども食堂にご支援くださる新聞社は聞きますが、自ら子ども食堂を運営される新聞社は珍しく「初?!」と聞きます。

マルシェでは、参加者から「行ってみたい!」「運営のご苦労は?」「ボランティアに参加してみたい」と、声をかけてもらいました。『子ども食堂って、困った子が行くところだね?』と言う声が圧倒的に多かった頃を思い出して、多くの家族連れ、地域の皆さんでにぎわう様子にグッとくるものがありました。このマルシェは開催地域の賑わい作りにもなり地域の活動を地域の企業、団体の皆さんが支えて仕組みであることに感激しました。

(なないろ食堂スタッフ 中道)

あったか元気便

親子イベント「田んぼに集まれ！」(主催:連合島根)

【田植え体験に参加しました!】

5月25日、連合島根主催「アフリカ支援米田植え祭り」があり、フードバンクしまねの利用者さんにも呼びかけ参加しました。今回は6世帯14名の家族、サクラ高等学院の学生4名、事務局含め21名の参加がありました。「食育体験」と「おやこde思い出づくり」の場として、毎年参加しています。参加者も毎年増えています。



当日は、お天気にも恵まれました!

お母さんの感想

参加させていただきありがとうございました。
子どもたちが、いろんな体験をしたり、いっしょに楽しんだりしながら成長してくれたらと思っています。
いただいたお弁当も、とても喜んでたくさん食べました。皆さんのあたたかな気持ちの支えが何よりありがたく、感謝の気持ちでいっぱいです。

夏休みの「あったか元気便」は553世帯へ 下準備の作業量もアップ!

*皆さんの手を借りて、食品整理・運搬・パッキング! 8月パッキングボランティアも募集中!

あったか元気便は年4回利用者宅に送っています。この夏も、いきいきプラザにて毎回約60名程度のボランティアの協力を得、数日間、宅急便のパッキング作業をします。また、事前作業も、多数のボランティアの参加を得て、下記の通りいろいろ行っています。

パッキング作業の会場別仕分け↓



手渡しの利用者に向けたパッキングを3日間で準備します↑



寄付野菜を受け取り、手渡し会場ごとの仕分けをします↑

お米SOS!

“年間を通して集めています”
1合ずつ、ひと握りずつ...と呼びかけてくださる団体もあり、感謝です



ロス冷凍食品の賞味期限調べ作業↑



手渡し日の前日...パッキングした箱や精米済みのお米が出番待ちです↑ (この日は大雨、箱運搬は、KK国分さんが5名ボランティアで)

正会員団体 生協しまね 地域つながりセンターで「新入職員研修」



新入職員の皆さん&スタッフ 笑顔がいっぱいです!

《感想》

- ・人と人のつながりがあったかいくらしづくりにつながるんだなあと改めて思いました。
- ・おたがいさまの応援者登録は敷居が高いと思いましたが、話を聞いて参加を前向きに考えようと思いました。
- ・こんなに幅広く活動されているとは知らなかった。子ども食堂やパッキングボランティアに行ってみたい。

「生活協同組合しまね」2024年度 新入職員研修が4月12日(金)、当センターにて行われました。

10名の新入職員が、「地域でつながる諸活動」を学びました。センターの構成団体の一つとして、生協しまねも参加する「おたがいさま」「なないろ食堂」「フードバンクあったか元気便」「子どもの笑顔応援基金」等の具体的な活動を聞き、これら、支え合いの取り組みが「地域のくらしを豊かに」していくことを学びました。



センター近く(JAしまねくにびき地区本部内)に設置された「あったか元気便」自動販売機で購入体験。休憩時のお茶になりました。ウレシソウ...



*賛助会員の皆様

ありがとうございます

賛助会員(個人) 60 名

(団体) 22 件

団体紹介: JAしまね出雲地区本部・JAしまね西いわみ地区本部・JAしまね隠岐島前地区本部・島根県農協電算センター・(株)JA アグリしまね・島根県厚生農業協同組合連合会・生協しまね虹の会・マルイ食品(株)西日本・(株)カネソ22・ニッシンググルメビーフ(株)・間口ウエストロジ(株)・生協コープかがわ・松江土建(株)・クリッパイトハラ水産(株)・(株)風見・島根中酪(株)・島根県生活協同組合連合会・はらガス産業(株)・大国内科クリニック・ティーエスアルフレッサ(株)松江支店・(医)大学前のつ内科クリニック

*皆さまからの賛助金の5%を子どもの笑顔応援基金に使わせていただいています。

地域つながりセンター10周年記念事業

日時: 2024年9月28日(土) 12:30~開場
会場: JAしまねくにびき地区本部営農総合センター
*開会前にブースで買い物、展示を見たり...

- 13:30 オープニング バイオリン演奏
開会挨拶・ロゴ発表・10周年のあゆみ紹介
(休憩) 買い物や展示をご覧ください
- 14:30 記念講演会 & エピソードリレー
- 16:00 閉会
*参加者全員 記念品プレゼント

どなたもご参加OK
申込/9月6日(金)
☎0852-67-3088

後記)先日 TV で、被爆者の方が小学生に戦争体験を語る様子を見ました。戦争が起きないようにするためにはどうしたらいいか?という問いに、多くの子が「難しい...」と答える中で、ひとりの子が「一緒にご飯を食べたらいいと思う」と言いました。え、そんなこと?という感じで笑いが起きました。彼は続けて「結構、真剣に考えてる。相手の国のご飯を美味しいね、って一緒に食べたらさきっと仲良くなれる」と話しました。国によっては、ありえないとおもう食べ物もありますが、食文化という言葉があるように、それは相手を受け入れることなのかな。美味しいね、って一緒に食べることの大切さと温かさを、彼の言葉からあらためて感じました。そういうあったかい気持ちを広げていくことに、これからも関わりたいと思います。(中道)